

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

中期計画キャッチフレーズ 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

2023年度~2025年度の中期計画の3年目は、SNSやHPでの発信の充実につとめるとともに、地域子育て支援拠点の価値を明らかにする調査研究を行った。結果については、報告書とパンフレットを作成し、フォーラムでは10年後を見据えた拠点の価値を共有できた。今後は、「子育てインフラ」という新たなキーワードを活用した広報も続けていきたい。また、オンラインひろば見学会やブロック別交流会により会員の方々と交流する機会も創出できた。

重点テーマ(1) 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

(1) 妊娠したら、育休取ったら、拠点へGO! キャンペーンの実施

プレママ・プレパパ向けのWEBサイトの充実、SNSの発信に取り組み、地域子育て支援拠点の認知度アップに努めた。実践者向け、専門機関向けの配布ツールをそれぞれ活用し、プレママ・プレパパに拠点を紹介できるように広報を行った。また、専用WEBサイトの検索性を高め、各種研修事業の参加にもつなげた。

(2) 拠点で取り組む最新情報の発信

2025年度は調査研究(従事者向け・利用者向けアンケート調査)を実施し、拠点の現状や利用者の実態を明らかにすることができた。調査結果を今後の事業運営に活かしていただくためにリーフレットを作成するとともに、「10年後の地域子育て支援を見ずえていま語り合うべき視点」をテーマとしたフォーラムを開催し行政や実践者など多様な参加者と共有した。



重点テーマ(2) 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

(1) 会員間のコミュニティづくり

●ランチ交流会

こども家庭庁のセミナーの地方開催のランチ休憩を活用し、参加者同士が団体を紹介するなど交流会を実施し、ネットワーク作りの機会を創出。

●オンライン交流会&ひろば見学会の実施

ひろば見学会が実現できない方も多い中、NPO法人Msねっとの協力を得て、ひろばの様子を中継し、環境設定などの工夫を紹介した。(2026年1月31日(土) 14:00~15:30)



(2) ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施

●テーマ別交流会

日頃気になるテーマについて会員同士で情報交換をしながら交流することができた。

テーマ①拠点ならではの「一時預かり」について語ろう

②拠点の防災について語ろう

●利用者支援専門員のひろば

年6回メルマガを発行するとともに、2回の専用講座を実施し利用者支援専門員のネットワーク作りにつなげた。

・利用者支援専門員(基本型)のひろば専用講座(2025年9月19日・2026年2月13日)

・交流会(2025年12月12日)

●会員向けオンライン相談会

2023年の会員向けアンケートや2024年度の会員の交流の機会を通して、運営相談のニーズが推測されたため、オンライン相談会を実施。その際に把握されたニーズを今後の事業展開に反映していく。(6月23日、26日)

●ブロック別意見交換会

以下の3つの項目を設定し、6ブロックの会員とオンライン上で意見交換を行った。そこで抽出された内容をもとに次年度予算に向けて国に提出する意見書を作成した。

<意見交換会の主なテーマ>

- ◆地域子育て支援拠点事業6日型、7日型の補助金の充実
- ◆地域子育て支援拠点事業における加算事業について
- ◆地域子育て相談機関と利用者支援事業の普及と充実

エリア	日程	人数	担当理事
北海道・東北	2/27 (金)	12	荒木・奥山
関東	2/18 (水)	3	松田・粟澤
東海・甲信越・北陸	2/5 (木)	12	中條・大村
近畿	2/16 (月)	8	廣崎・田中
中国・四国	2/9 (月)	13	藤井・安田
九州・沖縄	2/24 (火)	9	小川・石田

重点テーマ（3）企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

（1）企業との連携

住友生命様には、地域子育て支援拠点事業従事者のための研修の開発、利用者支援専門員のための講座や交流会、フォーラム開催など、地域子育て支援を支える人材の育成と啓発のために多大なるお力添えをいただいている。

また熊谷組様には、社員が安心して地域で子育てをするイメージを持つことができるように、子育てひろばへの理解を深めていただくボランティアの機会を創出。利用者与企业の方が交流することで、育休や両立支援などに関する情報交換を行う機会にもなった。

●住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」

調査研究、リーフレット発行、フォーラムの開催など、各事業の基礎となる部分に多大なるご助成をいただき、子育て環境の整備と実践者への支援にお力添えをいただいた。



<2025年度の主な活動内容>

- ・プレママ・プレパパ向けの講座のためのワークショップ
- ・オンラインフォーラム
- ・テーマ別交流会
- ・利用者支援専門員（基本型）のひろば

●熊谷組「スマイルプロジェクト」

熊谷組の社員の方々がボランティア休暇を利用し、ひろばでこどもの見守りやイベントのお手伝いに参加。マスコットキャラの「くま所長」をあしらった『くまトレイン』をプレゼントしていただいたり NPO 法人せたがや子育てネットの「ぶれす」(世田谷区)にて、ボランティアも行っていただいた。



（2）SNSの整備

- ・Instagram のフォロワー数は 2025 年度末で 1613 フォロワー達成。質の向上も意識し、エンゲージメント率アップを心掛けた結果、子育てひろば以外にも多様な団体がフォローしてくださっている。
- ・研修の告知や報告、理事の活動や拠点訪問の様子、意見書提出や委員会出席など多面的に活用した。



- ・こどもまんなか応援サポーターの参画宣言をし「#こどもまんなかアクション」を展開。全国各地の会員団体の関係者の皆様にご協力いただいた。

<https://kosodatehiroba.com/kodomomannaka>



（3）行政との連携

- ・都道府県別の地域子育て支援拠点一覧を最新のデータに更新した。

<https://kosodatehiroba.com/sprt-project#a03>

